

平成29年度 日本大学スポーツ科学部個人研究費 研究実績報告書

所属: スポーツ科学部 競技スポーツ学科

資格: 専任講師

氏名: 松尾 絵梨子

研究課題		継続的なエクササイズ実施に伴う主観的・生理的变化がエクササイズに対する自己効力感に与える影響について
報告の概要	研究目的及び研究概要	<p>研究目的 本研究では、定期的なエクササイズを継続していく中での、エクササイズ実施に伴う主観的・生理的変化とエクササイズSE(Self-Efficacy)の変化、およびエクササイズSEとの関連性について検討することを目的とする。</p> <p>研究概要 ①運動習慣の有無によるエクササイズSEと主観的・生理的変化およびその要因について、一過性のエクササイズ実験を行い、各種データを収集・分析する。 ②事前アンケートやエクササイズSE尺度の適正化、および異なる対象者のエクササイズSEに影響を及ぼす運動強度の設定について、先行研究や予備実験の実施から分析する。 ③定期的なエクササイズを継続した際の主観的・生理的変化について、各種データを収集・分析する。</p>
	研究成果	<ul style="list-style-type: none"> これまでのデータを再検討し、統計的に有効であるサンプルサイズや、目的に見合った統計解析の方法を見出すことができた。 事前アンケートやエクササイズSE尺度、および対象者に合わせた適切なエクササイズの運動強度の設定について、先行研究の論文抄読や共同研究者との打ち合わせを通して再検討し、これまでとは異なる手法を見出すことができた。 本実験の手順やデータの測定や分析、統計解析方法等を一部参考にし、共同で相互にデータ解析を行っている研究者とともに、共同発表を行うことができた。
研究業績	・論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数	なし
	・学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所	<p>①学会発表: 塩田正俊、松尾絵梨子、松原 茂、鈴木政登 「高齢心房細動患者の血圧管理―手首、上腕自動血圧計と水銀血圧計による比較―」 第72回日本体力医学会大会、平成29年9月17日、松山大学。</p> <p>②学会発表: 鈴木政登、進藤大典、小沼直子、松尾絵梨子、松原茂 「エネルギー代謝に及ぼすコーヒー成分カフェイン及びクロロゲン酸経口投与の影響」 第25回日本運動生理学会大会、2017年7月30日、横浜国立大学常盤台キャンパス。</p>
	・その他 *学会・競技団体報告書など 著書名・標題・掲載誌名 発表年月・発行所 *講演会、研究会、研修会、セミナー等での講演発表 発表者・発表年月・題目名・講演会名 *社会貢献活動等 【業績提出状況】を付記	なし